



THE JTSU-E JOURNAL



公式ホームページ 公式SNS (X)

所在地: 〒135-0044 | 電話: 03-6458-5603 | H P: http://jtsu-e.com | 発行人: 佐々木 宏 充 | 2024年 7月22日 第53号 | 月1回発行/1部20円 (組合員の購読料は組合費に含む)
東京都江東区越中島 3-5-10 | F A X: 03-6458-5605 | メール: union@jtsu-e.com | 編集人: 奥 富 亨

2024年7月7日
赤羽会館 大ホール

JR 東日本輸送サービス労働組合 第7回定期大会 開催



協創
を通じて、組織強化と拡大を目指すとき
全参加者で確認!

輸送サービス労組運動への「共感」から「すべての仲間」の真実の声に基づく「共創」へ!

- 1. JR東日本の安全性再確立! 鉄道という「命をあずかる労働」に向き合い、地域と社会に必要とされるJR東日本であり続けよう!
- 1. 真の笑顔と活気あふれる職場を実現!
一切の労組ハラスメントと不法行為を根絶し、すべての職場から創り出す
“日常活動”によって、JR東日本輸送サービス労働組合への結集を実現しよう!
- 1. 働きがい・生きがい・こころの豊かさ実現!
働き方と賃金の曖昧化を許さず、働く者が主役の仕事と職場の創造を通じ、安心して働き続けられるJR東日本グループを創造しよう!

可決された大会スローガン

主催者あいさし (要旨)
中央執行委員長 佐々木 宏充

控訴審勝利を確認し、不法行為のない
健全なJR東日本グループの実現に向けて
職場から実践する労働組合であり続けよう!

2019年に東京地裁に所属する原告4名の仲間が東京地裁に提訴した「労組脱退ハラスメント」は、控訴審でたまたま継続し、今年4月24日に地裁判決を維持して「勝利」が確定しました。会社としての「組織の信頼」は認められませんでした。JR東日本の職場で脱退強要が行われた事実が認定され、その使用者責任が会社に問われています。また履行されていませんが、現在もその犯罪的行為を行った当時の2名の現場長が、未だに会社の経営責任として、しかるべき判断をするべきです。そして私たちが輸送サービス労働組合員に対してともなわ行われている差別・偏見などのパワハラ行為を許さず、健全な職場運営と真実な労組・実な労使関係を再構築していくために、不当労働行為のない憲法に則った、労使対等の立場に立った経営理念を求めたばかりです。

シニアアルバイト関東労組の仲間も6月13日に堂々と証言台に立ち、9月2日に結審を迎え、年内には勝利を必ず勝ち取ります。また、西武バスユニオンの仲間も復讐などもめめた勝利和解に向けて現在協議がすすんでいます。改めて、たまたま継続すること、そのためには本気の労働組合がなければならないこと、そして労働者の連帯を強く意識するべきかにかに大切に実感した1年でした。さらさら6月12日には、メトロサービス労働組合が結成され、新たに私たちJTSU-Eの仲間となりました。輸送サービス労働組合を結成して4年、これまで労働者の輪が広がっていることは、多くの連帯する仲間たちの拡大を強く意識し、職場からたたかいて強化し、運動を大きくつくり出してきたからだと確信しています。またまた連帯はです。当面は輸送サービス労働組合3,000名の組織にすることを同じ1年間目標として、あらためて一機関への拡大を強く要請します。

経営の暴走を食い止めるために、
真の労働組合としてチェック機能を果たそう!
改めて、企業の健全な経営の暴走を食い止めるために「1つからもう1つ」真の労働組合が存在しなければならない。特に2018年以降急激に悪化しています。京葉線のダイヤ改正やみどりの窓口の廃止計画深刻な問題は、本部や地裁が再三再四、団体交渉で指摘してきたことであり、私たちの声を聞かないが故のミスミミを始めた地域の皆さんからの反響です。地域や利用者からのクレーム対応などすべて現場に押し付けている

のが今の経営陣です。ただ、自分だけではなく子孫のために、何をやるのか、地球温暖化と言われている気候変動対策などは、人間が生きていく上でも経営の大きな課題です。将来に禍根を残さないためにも労使の課題にしていきたいです。

声なき声を組織全体の声へと高め
組織強化・拡大を実現しよう!

最近、現場の不祥事がミスミミでも大きく取り沙汰され、会社は「懲戒解雇」という労働者にたいして許し難い処分を連発しています。確かに許すことは許さない、あつてはならないことです。しかし、不祥事が多発するということは、組織的な欠陥や背景や、経営の問題をこころえなければなりません。個人の責任だけでなく背後要因にこそメスを入れるべきであり、私たちが問題の核心に迫っていくべきではありません。私たちの職場活動を排除するために、ハズマンパ配布事件の都府委命令を「誤りだ」としている会社主張に、怒りと同時に経営の暴走に危機意識を待たします。それは、水戸の仲間が記名や電報注意処分を受けたことにも現れています。職場で発生する問題を職場で語り改善していくのが当然のことです。組合を脱退させられた人、組合に加入したくない人などの中には、会社への不満を持っている人が多くいます。その不満を抹殺していった社会的責任を忘れ、利用者や地域からも見捨てられ、やがて自滅の途を辿ることになります。会社の一員として自らを俯瞰して見ることが出来る、私たちもそのような社会的責任を労働組合として全うするために組織の強化・拡大から5年を迎えるにあたっての大きな課題になります。

いかなる戦争政策にも反対!
輸送サービス労働組合
すべての職場からつくり出そう!
来年は、戦後80年です。世界から戦争は無くならないどころか逆に余った税金は防衛費に、というところが国民的な議論も何もなしに進められていくことは成熟した社会でもありません。先日、労連に「戦後80年平和未来フォーラム実行委員会(仮称)」がつけられました。このフォーラムの成功に向けて全職場からたたかいてつくり出していきます。

改めて労働組合活動の拠点に現場であり、現場です。問題は現場で起きています。傍聴せず、みんなが解決していくために職場の日常活動を泥臭く取り組むことを1年間の大きな課題とします。来年の大会でその総括を行い、結成5年を大きな節目とし、同じ10年を見据えさらに前進していくため、今日をその1年のスタートとしてこのことを申し上げ、主催者を代表してあいさついたします。

発信者
5月8日、喜勢社長は定例会見で「みどりの窓口の削減方針を一旦凍結し、当面は現状を維持する」と発表した。職場では「社長はこれまでの方針を転換した良い人」という声も聞かれています。でも、そうだろうか。そもそも新聞各社が指摘していることはJR東日本の経営姿勢であり、会社は「利用者や置き去りにせぬよう」デジタル戦略、利用者監視露呈と報じられ、世の中が非難されている。一方で、私たちが社員に価値観はどうだろうか。窓口が混雑している状況を見てもいいでしょう。ネットや買えることと会社の掲げる方針を押し付けたりしていないだろうか。会社は「登乗率2027」を策定して以降、省力化や無人化を進めてきた。改札口ではインターホン置いて「人がいないことに慣れていただく」とばかりに施策を推進してきた。▼利用者や労働組合の声を封殺し、強引に施策を進めた結果がこのような組織の風土を生み出し、社会から指摘される結果を招いたと言えらる。利便性の向上を目指すと同時に、カスハラ被害も報道されるように、駅職場は心が削られる中で業務を担っている。だからこそ仲間間に寄り添い、是非々々の立場から利便性・働きがいの向上のために発信していくことを忘れてはならない。(R・Y)

組合員の声に基づく大会討議を踏まえ、申し入れを提出!

7月18日提出 申3号

「命を預かる労働」という鉄道事業者の使命と責任を果たし、働きがい・生きがい・こころの豊かさの実現を求める申し入れ

7月12日提出 申1号

「脱退パワハラ訴訟」控訴審判決に基づくJR東日本の使用者責任と社員の安心を実現する経営責任の履行を求める緊急申し入れ

安全・職場課題・労使関係における課題を解決し、働きがい・生きがい・こころの豊かさ実感できるJR東日本グループ実現しよう!

申し入れ事項は右記QRコードよりご覧いただけます。



使用者責任が認められた判決を会社は真摯に受け止め、誰もが安心して働ける職場をつくり出す経営責任を果たすべきだ!

申し入れ事項は右記QRコードよりご覧いただけます。



第7回定期大会

【6月15日 赤羽会館大ホール】

第7回定期大会 開催 JRマカトロサービス労働組合がJTSUへ加盟!

日本輸送サービス労働組合連合会(JTSU)は6月15日赤羽会館大ホールにおいて「第7回定期大会」を開催し、JR東日本グループおよび輸送サービスに携わる仲間と共に、総合労働政策を実現させていく運動方針を満場一致で決定しました。大会では6名の代表者から発言を受け、JR東日本グループを安全で安心して働ける健全な職場にする取り組みや、JR東日本会社の社構改革推進に対する現場からの怒りの声、2024年ハラスメントに関する諸問題や職場の課題として地域との連携・連帯についてなど、職場を原点として年間のつくり上げたJTSU運動の実績が報告されました。また、株主総会を前にしてJR東日本の信頼を揺るがす事象が連続して発生したことから、改めて組合員一人ひとりが職責の重要性を自覚して、組織の力で困難を乗り越えていくことを確認しました。

【第7回定期大会 スローガン】
加盟単組と個人加盟の仲間と共に! すべての輸送サービスに携わる仲間と家族の「働き方」と「暮らし」を創造し、職場活動を原点に、地域社会との連携・連帯で、私たちの総合労働政策を実現し、グリーンな地球環境と平和な未来社会の創造に向けてJTSU運動を推し進めよう!

大会後は「JTSU議員懇談会登壇見学会」を開催し、15名の議員の方から議案の取り組み報告やJR東日本グループ会社で働く仲間の「声」を出し合い、これからも議案を職場をしっかりと繋ぎ、すべての人たちが幸せに暮らせる社会を目指して、懇談会では6月12日に結成したJTSU4番目の新たな単組「JRマカトロサービス労働組合」の仲間たちを交えて、輸送サービス業界で働く人たちのために4単組が連帯してJTSU運動をつくり出すために交流を行いました。これから輸送サービス関連東労組 西武バスユニオン、マカトロサービス労働組合と連携しながら、職場や地域を基盤にしたJTSU運動の創造に向けて仲間たちと共に奮闘していきます。



バス関東労組の仲間と連帯し、健全なJR東日本グループを実現しよう!



【6月13日 報告集会にて】

ジェイアールバス関東不当労働行為事件 中央労働委員会命令取り消し訴訟

「ジェイアールバス関東不当労働行為事件中労委命令取消訴訟」は6月13日に第6回期日を迎えました。争点である「救済の利益」について、原告である佐藤さん(糊倉分会)が証人尋問に立ち「JR東日本の指示のもと、会社の意を体して行われた不当労働行為の真実と争点である救済利益について」「自身に対して反社会的勢力をちりつかせながら行われた脱退勧奨とその背景」「信頼していた現場長から受けた脱退勧奨による精神的苦痛」など当時、不当労働行為が行われた事実、そして体調を崩し、乗務割当が叶わない現実など自身の想いを堂々と主張しました。合わせて「2018年以降、ジェイアールバス関東において組織的に行われた不当労働行為の数々」「今なお職場に蔓延る労働組合差別の実態」「団体交渉における議論が回答書に一切反映されず形骸化している状態」などを訴えた陳述書類も裁判所に提出しました。裁判終了後には報告集会を開催し、連帯する120名の仲間が集まりました。この裁判でたたかっている相手は中央労働委員会、すなわち国側であり、中央労働委員会においても不当労働行為の事実認定がされたことは、会社側にとって「最大の汚点」です。不当労働行為の事実が認定されたことから、すでに私たちは勝利しています。この裁判で東京地裁に求めていることは簡潔で「全部救済命令を勝ち取った都労委命令を履行すること」です。次回の第7回期日にていよいよ結審となります。あらゆる理不尽に屈せず、労組ハラスメントと不法行為を根絶させるために、完全勝利判決まで佐藤さんを支援し、たたかい抜いていきます!(バス関東労組発)

次回期日にて結審!
9月2日(月)
11時30分より

JR東日本八王子駅 職場活動の規制を許さず、パンフ配布処分事件 健全なJR東日本を実現しよう!

6月17日に中央労働委員会にて、第5回調査期日が開催されました。輸送サービス労組と会社の双方が申請していた尋問が認められ、次回調査の10月21日(月)に尋問が行われます。調査が進む一方、職場では労働組合の活動に対する規制が行われています。「会社が認めた場合しか組合活動はできない」というスタンスを崩さず、組合員同士の日常の会話すら規制の対象としています。都労委命令でも「職場秩序を乱すおそれがある」と言い難い正当な組合活動まで一律に制限する理由にならない」と述べられており、正当な活動への規制は認められません。

次回期日 9月9日(月) 13時00分より



中村文治氏 不当解雇撤回裁判

7月17日に行われる予定だった、西武バスユニオンに所属する中村さんの不当解雇撤回等を求める訴訟は、弁護士同士の和解交渉となり非公開となりました。この間の取り組みによって、裁判官3名による合議制への変更や、会社に対しての文書提出命令などを実現してきた経過を踏まえ、原告側にも前向きな動きであると捉えることができます。今後5~6回の交渉を行っていきます。和解の実現と再びこのような事案が発生することのない健全な西武バス会社、労働者が安心して暮らせる社会の実現に向け、連帯するすべての仲間と共に、取り組んでいきます。(西武バスユニオン発)

STOP! 企業倫理の逸脱 NO! 企業犯罪 第三者機関を活用した取り組み 不当労働行為救済申立て

- 水戸地本からの申立て (2023年 3月13日提出) 9月5日(木)10時30分から東京都労働委員会において、第5回調査が行われます。
- 東京地本からの申立て (2022年11月25日提出) 7月11日(木)10時30分から東京都労働委員会において、第6回調査を開催。第7回調査は9月24日(火)15時00分から行われます。
- 八王子地本からの申立て (2023年 1月18日提出) 7月4日(木)10時00分から、東京都労働委員会において、第5回調査を開催。第7回調査は9月3日(火)13時30分から行われます。

安全に安心して働けるJR東日本を取り戻すため、すべての仲間と健全な経営を実現させよう!



夏季輸送を無事故で完遂しよう!

連日にわたって猛暑が続いています。水分・塩分補給など体調管理に留意して、安全・安心・快適な輸送サービスを提供していきましょう!



未来ビジョン

職場討議資料

主役は“一人ひとりの仲間” 全職場からの創造を

最新情報

東京都議会議員補欠選挙 (北区) 当選

推薦



こまざき 美紀 氏 (都民ファーストの会)

JTSU 議員懇談会との連帯を強化し、すべての仲間のための輸送サービス労組運動を共創しよう!

地方選挙 推薦・支持候補者

レク・サークル

楽しい時間を仲間とシェア! 仲間との“絆”を深めよう!

地域連帯



水郡線沿線のNPO・法人と鉄路存続と地域活性化に向け、意見交換を行う!



6月22日(土) 矢祭町「友情の森」 水戸地本 エルダー連絡会レク in 矢祭



青空の下、バーベキューを楽しむ!

福島支部 BBQレク 6月8日(土) 天神岬スポーツ公園



4区合同BBQレク 6月10日(月) 新木場公園バーベキュー場 (京葉運輸区分会・丸の内運輸区分会・田町運輸区分会・東京車掌区分会)



水戸・東京・八王子レールクラブ 3地本合同団体臨時列車



スポーツを通じて絆を深める!

八王子地本サッカー部主催 サッカー交流大会 6月6日(木) 昭和公園陸上競技場

5月29日 6月27日 開催

トキ鉄ワイド満喫号の旅

2日間で180名が参加!



ヒューマン・エコロジークラブ

「ブッシュクラフトキャンプ」を開催します!

- ◆とき◆ 2024年8月25日(日)~26日(月) 「不便」や「暇」を楽しみ
- ◆ところ◆ 百軒茶屋キャンプ場 「自然」を楽しむ時間を過ごそう!